百囀

5-6
4-15

国立国会図書館　タイトル『百囀』　請求記号 寄別5-6-4-15

ガラス使用

百囀

完

午
特別
55

国立国会図書館　タイトル『百囀』 請求記号 寄別5-6-4-15

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『百囀』　請求記号　寄別5-6-4-15

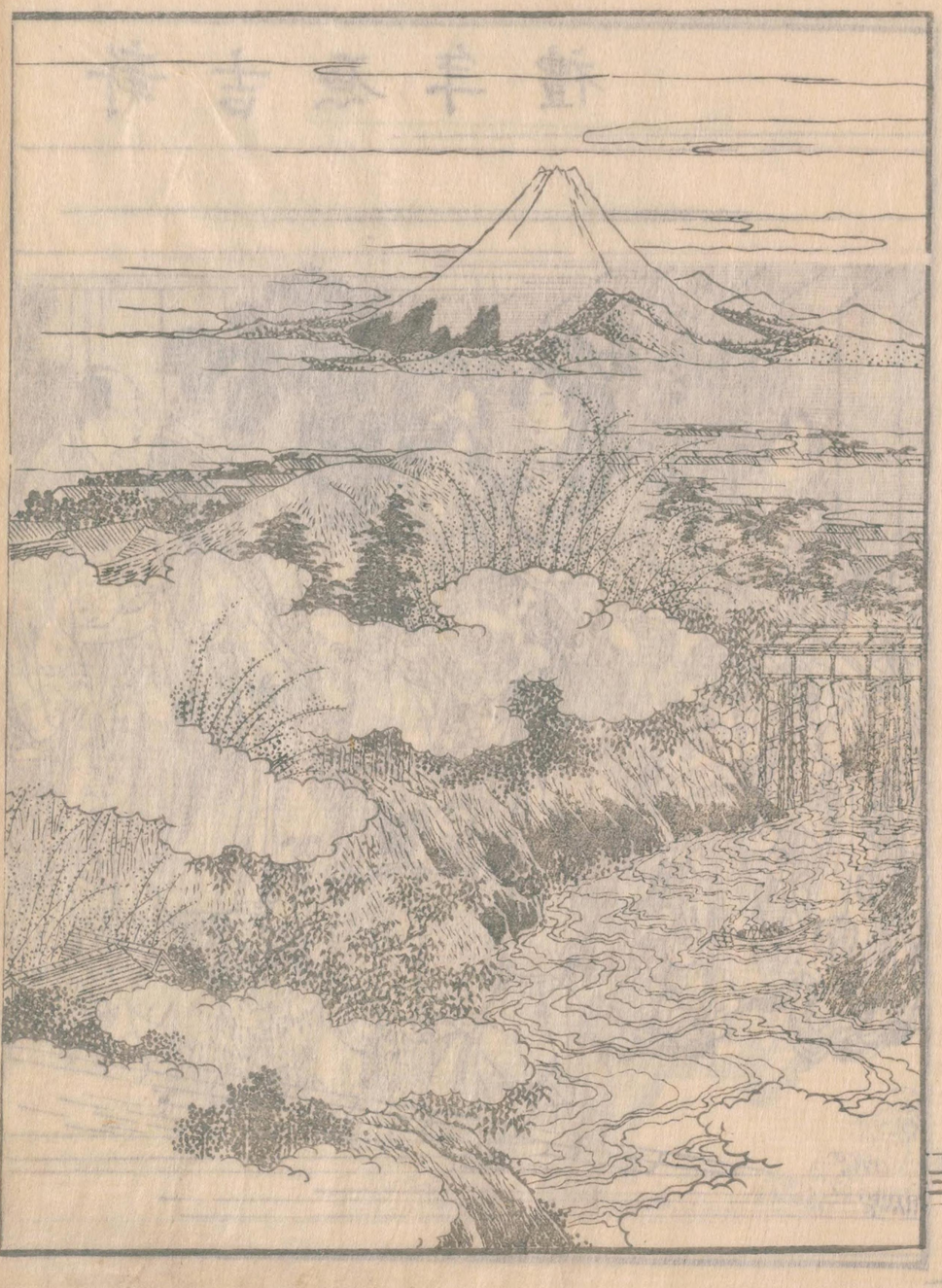
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『百囀』　請求記号 寄別5-6-4-15

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『百轉』 請求記号 寄別5-6-4-15

ガラス使用



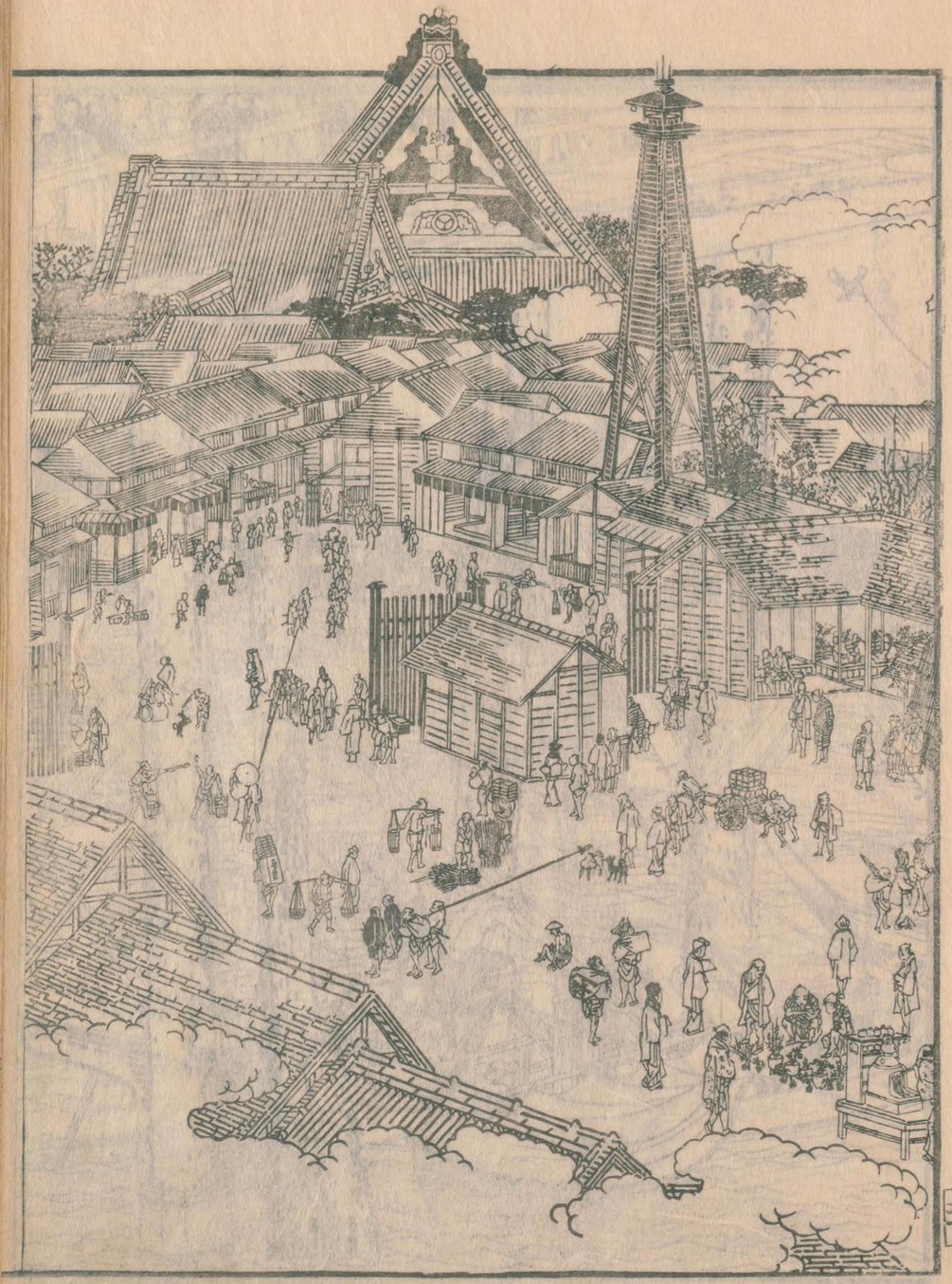
国立国会図書館　タイトル『百囀』 請求記号 寄別5-6-4-15

ガラス使用

新吉原年禮

国立国会図書館　タイトル『百囀』　請求記号 寄別5-6-4-15

ガラス使用

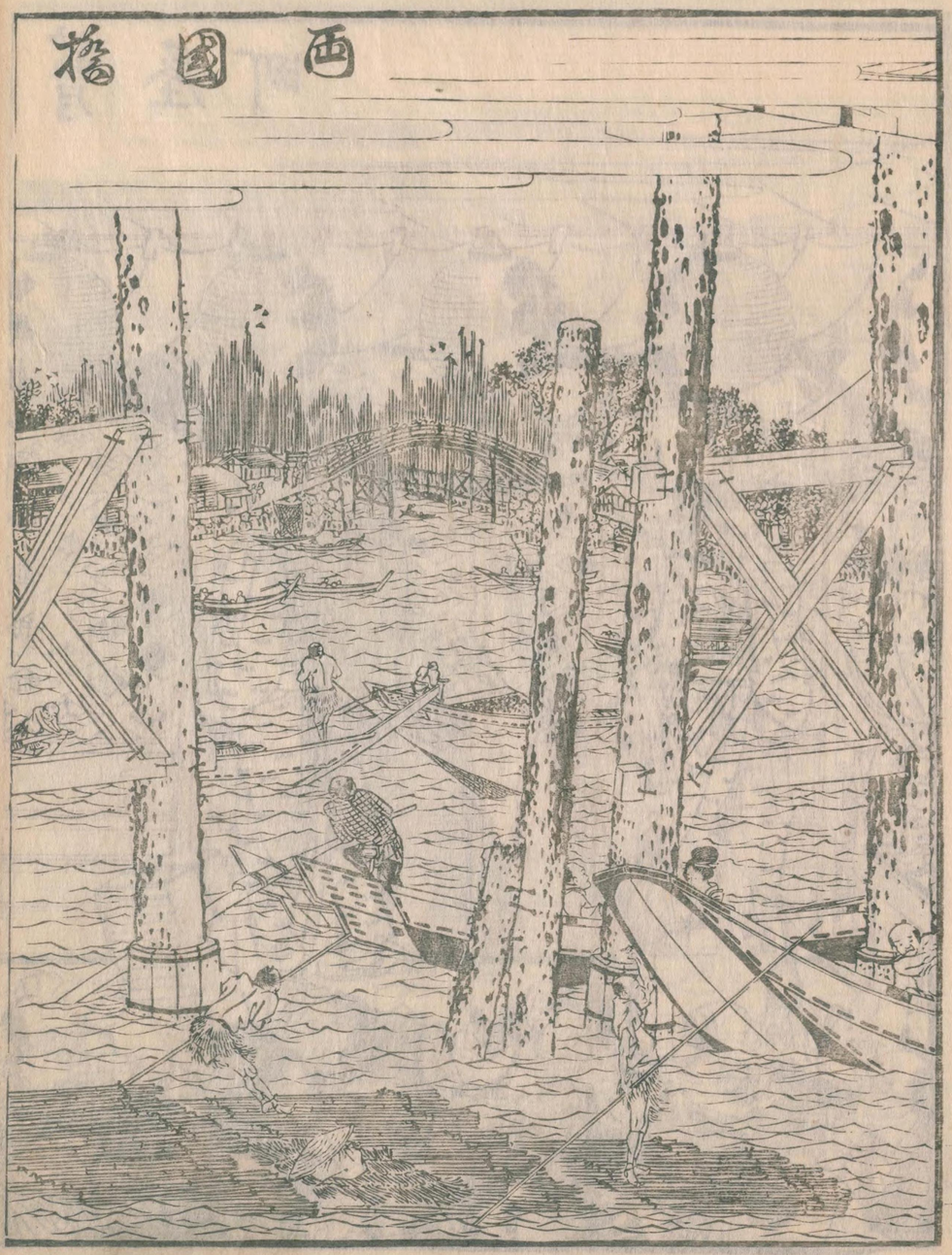


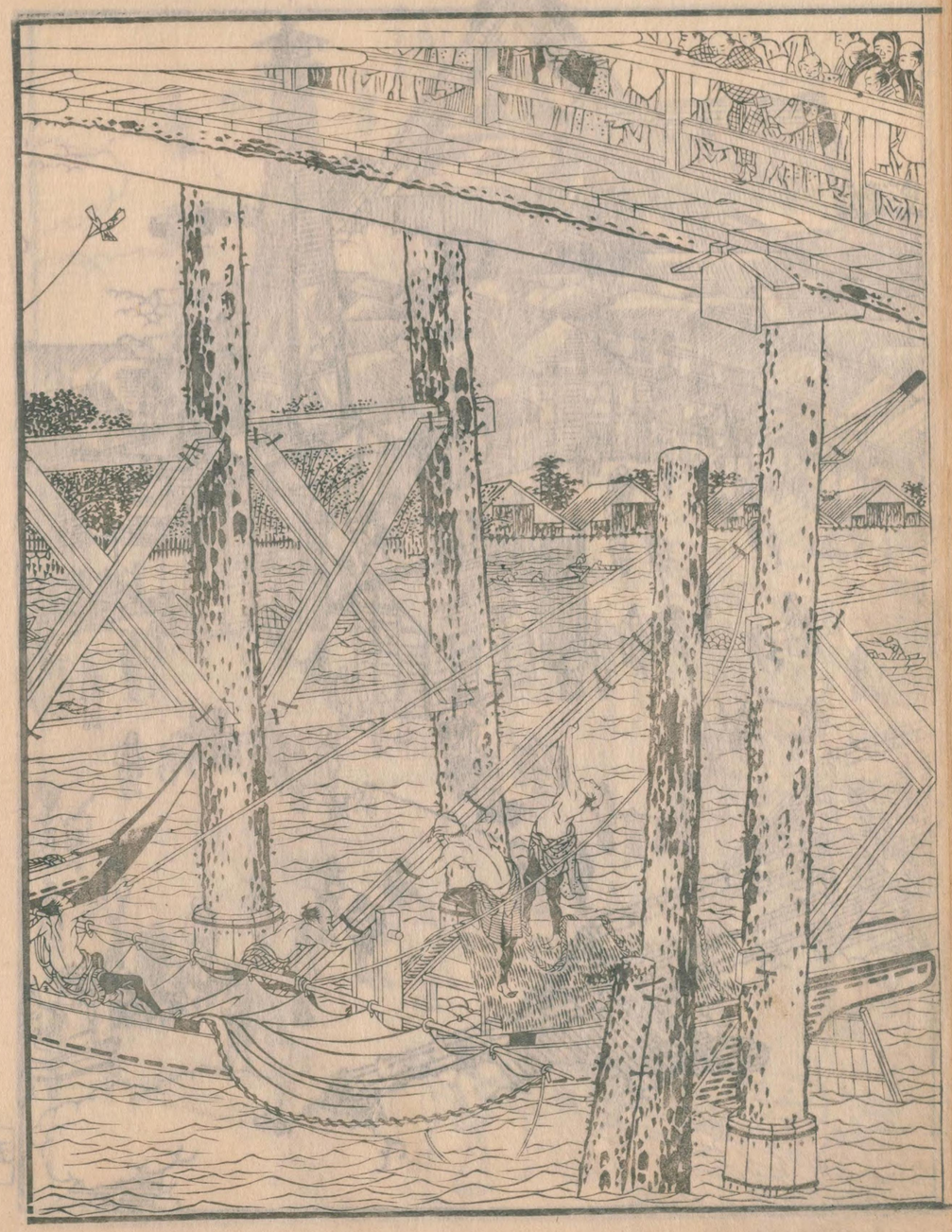
五

国立国会図書館　タイトル『百囀』 請求記号 寄別5-6-4-15

ガラス使用

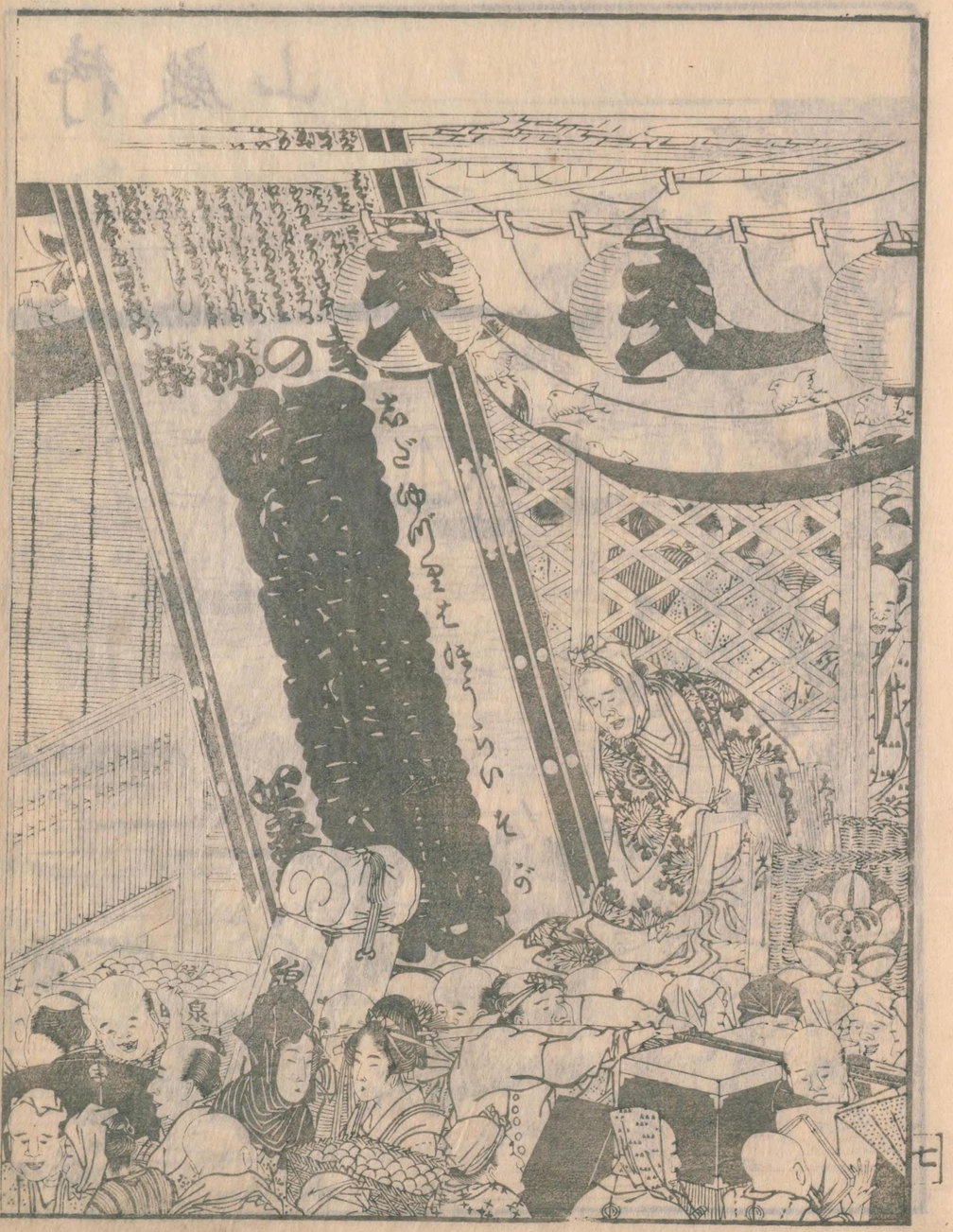
西國橋



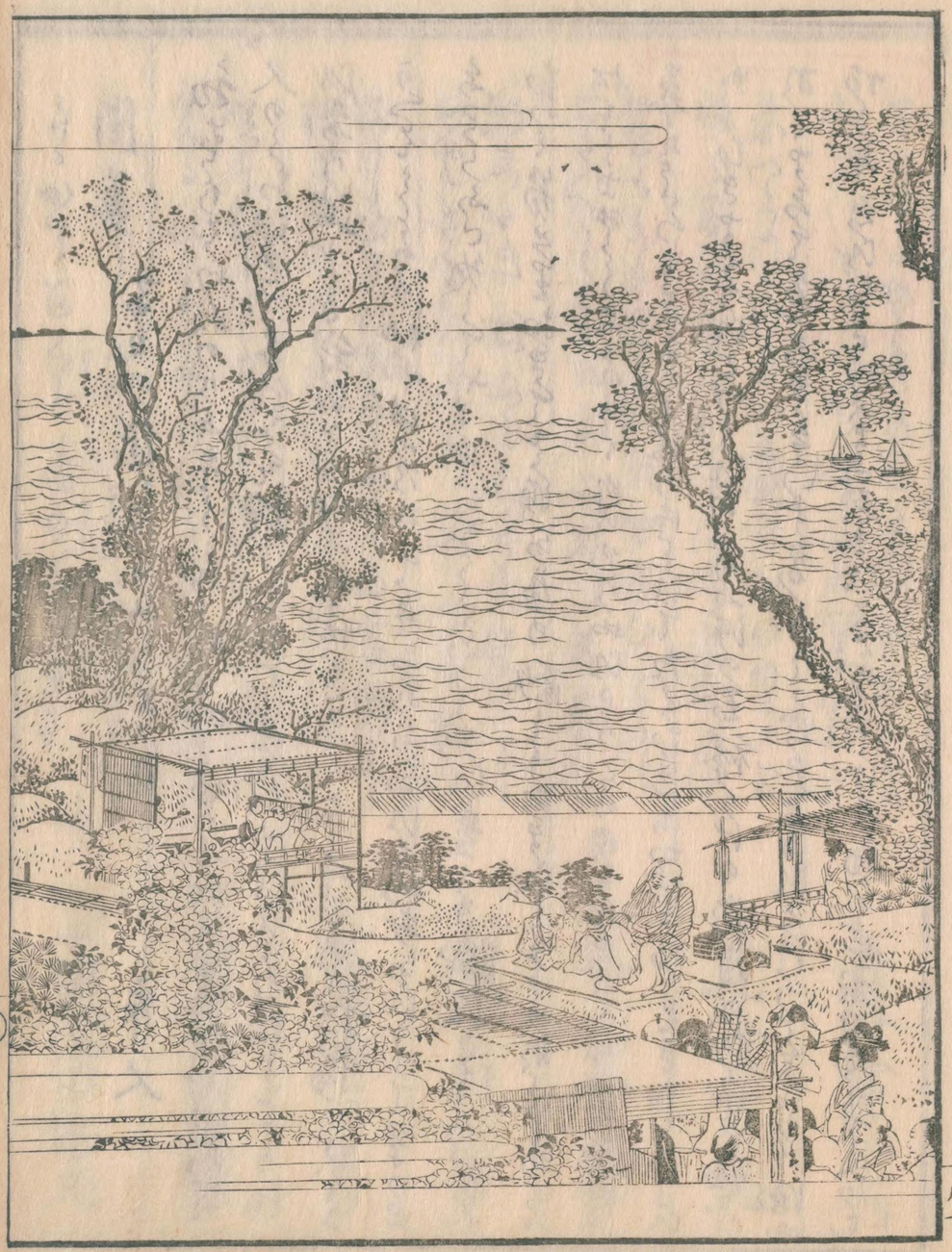


国立国会図書館　タイトル『百囀』 請求記号 寄別5-6-4-15

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『百轉』 請求記号 寄別5-6-4-15
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『百囀』 請求記号 寄別5-6-4-15

ガラス使用

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上野大間々　千載連

山里もりそふ春をしる年の
うちひたなりる初の野　亀長命

花こそはめでる盛りなけれども
世をふり帰りみる夏　夏引虫人

さえてひかりも冴てやどれる
月のひかりもめでる夜　寶井子

春ふりて軒なの杉にふる雨も
まだもれぬのさゝがさゝがに　万豆文

千金の春まちうけてハ鶯も
なかぬ春我るくやひとりよ　雀巣籠

ふるとしも砂の数をはしらねど
幾千よまの末もかぞへん　柏賣人

駿河なるあべ川もちひ名物と
聞るの出よ初もうり　四辻門守

こゝろ迄白く染うと車社輪とて
ひかぬを見せよと車引かう　三輪里人

こゝろ迄一年ものの風よまも
長閑なる春の日ぞ永き　夏山青喜

ものゝふの弓矢はもはら百
発百中こそ尊けれ　三某角製

神のまに〳〵たのむ此菱ぬ
もとも此へてこの松有　白鷺池住

いつもわれかくてよ春をかさねむ
君ぬめこの松のうま　東田舎丁雅

仝

上野　桐生

一丁羽府　名
知部方頼　後
鳴子綱房　海
三津煉方　産
岡屋馬人　海
若草未繁　野

竹葉寺數
短夜齋百川
瓶萬丸
布嘉朝臭
妙義山白雪連
女真猿岐
寶山寺

身幅廣記

蓑蕃万世成

飯好亭振路

古今春都

雨足音

山仲住

山櫻蕃腰成

上野下仁田

息齋延命

先草蕃深見

里夫堂野人

冨能軒冬彦

尾上鐘成

今沼田

口中へ筆にて書たるを拭ふ
小町桜の花びらを散らす

筆塚の波は数の玉ぼこ
うら浦々一帰る雁

富士額かすむひろ野一望に
江戸もさながら春の錦絵

上野山中

暁の金也芋う一里聲のとも
このめ〳〵れ春はてんかい

山猫仙うをのさへ越前
うるはしものけもなさそう

上野

三十日月人

湊婦名町

酔醒水戸

瓢亭百成

附子盛岡

十三

下野鳥山笑蕾連

高崎 源吾楼魁人

小幡 則百遊

常陸帯長

紙則満

傾城實成

飛花むら成

国立国会図書館　タイトル『百囀』　請求記号 寄別5-6-4-15

ガラス使用

常陸水戸某菩連

鱗角丸

いもりうごかせし袖のうすみどりとゑるを祈こふ軒せ梅　二見菴巖

白雨乃かゝるもかゝはらんそゝろ心地乃山も天狗　高砂齊岸住

金剛ハとゝおふふかきとゞめしもみぢ葉ハ　紅葉山住

ひまもらぬ名とハ申るふと　常陽堂川住

菩ゝゝハ名ハ告せこゝろ　朝寝坊寺住

一佳の門松ゝも神ゝゝ

菩ゝゝもる義のゝゝセ祈ゝゝん　年中舎酒住

ちゝゝせをの物る和歌乃留人

門春の枝もゝゝさゝ君こゝ仕よ　真垣菴菓人

いもりうごかゝ　ゝのゝ川

下野茂樹　芙蓉連

伊豆ハ海のゝゝもろこひゝゝ細よ　駒元襟風

かゝる義セゝ乃ハ誠ゝ橋

ゐるへゝゝゝ組ゝせゝ義州よ　孕雪菴太白

つゝゝれてゐる野路乃ゝゝ弱

定ハ海かゝゝゝ菩ハ　川井村住

ひゝゝせるまゝゝ日もゝゝハ

ゝのけるゝ乃菩ハ

国立国会図書館　タイトル『百囀』　請求記号 寄別5-6-4-15

ガラス使用

高橋元任

島無里高盛

寸尺亭満盛

芙鳥軒松鳳

榮息舎蔵人

五島亭百廣

下野宇都宮芙蓉連

春笑亭咲摂

無銭亭安世

谷雪丸

旭亭赤根

真白菴綿法師

佐野中道

栗御膳

汲久圭八七郎妻の今井戸
はる亀乃強井ゑつ日も秋せ

笑ひ久昭ふ子ゑ仕宮ま
すゑふよきは 鴛

一とせ姓語子智子也下戸ま
かさ祝ふ祝ふ屠蘇 乃壺

阿母ま也も梅桜をこそ
美ま寿よ海ふ亀ふ

いふ玉ゑセり西仕野ふ西井
を玉祖ま乃ひをふきま祝ふ

いさ杉翁八人ま之海ふ祝と
祝はふふふ祝ふ時ま達の名ま

下野 大田原

綿上剣久良

繁昌酒舩

吹根来尊記

釜山楼冨風

雄々館孚記

嵐崙舎黒人

子日ま乃時ま也より志ま
いふふ寿根ひふ玉せん

梅ふふ久ま乃祝ま也せ
ふふ祝ふ亀ふ

志ふ毛社戦場乃 お保ま乃

釜臍 主

安氣方頼

玄仲那言七盛

仝 豆利

松風のいとまもなふ吹ま
かふふひふるかふ琴乃聞

仝 那須原二見連

京雛社ま乃路よ也ふ也ま陸沢の
三川よひてふ着社ふふふを

紫藤亭元住

寶来亭鳴人

馬具商 繁波

氣延友行

戚暎舎枝也

櫻川亭近樹

民家軒貫

松元亭繁樹

賓市丸

谷島亭浦人

波風老友丸

奈良屋住

矢立薄墨

五葉亭永樹

国立国会図書館　タイトル『百囀』　請求記号　寄別5-6-4-15

ガラス使用

年も杜ちかきの屋かな　秋こう香

蕎麦係花のもとそ春の日や

江口乃君杜こそ春雨さらに

春雨杜こもる社やうに神さびさらにもひらく杜こ祖

まそのへそれもさりげなの山

義上戸杜落花杜係をまこ

墨染杜かこまの急ぬけうちうち

まりまもちうこ女春のなうこと

けさこうへ小袖なの係もらわるの

屠蘇のふくろの手のひらしるまこ

そほ姫のひさのをしるまこ

義乃ひまよこまるいこ

島田直毛女

堪忍舎深記

手箱玉廣

能美子定女

二重条芳

蒼花成

雛美津女

蕎麦杜こもる日々行こもる

のもこうこそんやをこ

根芽はむ仄のふうさもの

まるせひりをこ

青松菴春人

梅花亭沼住

田楳舎緑

旭禮舎三枝

蕎杜こそ急ぬけ小書

きこうこそもる　新あけ

年一本ふぶいそもうこ　緑杜

多をこそるまりそるの基板

さこうこそもうこ四こ

はこおもりり　松乃こ

冨艸生連

常陸下妻　承二見連

国立国会図書館　タイトル『百囀』　請求記号　寄別5-6-4-15

ガラス使用

播八重咲
千年救鳥
萩筆持
逸嘉時風
野邊道草
朝寢房雪永
豊實集

撮柱小路枝也
鎖口鈴也
實亭堅氣
波翁良
弥生菱持
甘露齋道遠

陸奥　岩城

国立国会図書館　タイトル『百囀』　請求記号 寄別5-6-4-15
ガラス使用

陸奥白川

豊待代住

おもはぬもいとゝ桜の

徳意留安

かすみとりはよそふらん夜の

東仙堂義寺

ほのぐとあけ行山端の

宿元女

相栄ゝ春ゝ千ゝ年ゝを八重山吹の

鯖鈴楼延人

言霊とゝもにこゝ人もタ

倉

さゝやくべくとゝまる桜ゝ

二十

玉亭社業おほのぬま

萬石丸

田五段ゝし妻ゝゝ

一水舎舛人

口紅をさゝぬる茶社花ゝと

叢道寺

おもはゞ匂ゝ桜ゝ可愛さは

おく〳〵ゝ桜の咲ゝ

ひる山ふかゝ

須賀川

画筆の一毛日さに

牟方菴早樹

七八重ゝも咲ゝ

破地齊上塗

重ゝ妻ゝ隠ゝる人も

花まつをかすみこめ

峯巒亭蔵人

其字ゝ迄乃小芽ゝ

はるもおの枝を出るらむ

陸奥湯原

[illegible] 一笑徳成

[illegible] 高畠 紀藥女

[illegible] 碁經石盛

[illegible] 言壷奈丸

[illegible] 白藤軒下風

[illegible] 口切菴茶昌丸

[illegible] 九万齊鵬丸

[illegible] 歌種真商

[illegible] 十予舎弘信

[illegible] 朋薮記

国立国会図書館　タイトル『百囀』　請求記号　寄別5-6-4-15

ガラス使用

住吉姫乃ほうさくをほめさせつゝ
さゝをゝりひゝり一二三四五おも

神の代乃春をうつしてや初
ほさゝりにうちに縄をなへ利

谷乃雨はもの里ともきゝわり
二日酔もも痛る物をまきり

陸奥　仙臺

玉こしうひゝきはるかる梅石れ
うゝほゝゝほゝゝ鶯宿春梅宇

玉こま我まて再ゝ春もまさる
花ゝうよゝゝを見せゝ前由く

なを世あふ雅仁の世をうたふ
さりけれゝつる春柳乃新

月ほゝゝひゝ吹て
中国のすゝゝよりおこる吉もう

うゝも毎仁梅の花のまさり
あのゝやうる春乃山

出羽龍田

吐ゝうれまゝゝ春をうたふひ
初るこゝゝゝまゝの山里

吉野川ゆるゝゝすゝるうゝ
やまゝゝ紫ほゝゝゝ新

落ゆるれほゝゝのかゝく事
もすゝまゝゝ春る代水

大名の花よまのひゝもまり
なうゝをゝゝ風をゝゝ

十府萱芳

南薫亭高人

鶴耕菴安丸

瓢種浅

角内子

遠友来主

遠路館為俊

北窓清風

蘿島近

泉流亭荻歌

国立国会図書館　タイトル『百囀』 請求記号 寄別5-6-4-15

ガラス使用

やゝ〳〵よき春の日かな　田原杉成

のどかさやいまさくら木の花の雨　松澤白雲連

出羽米澤

一枝の花ハ千とせの春ぞ有　玉拾菴藏滿

たゝ〳〵と五さとの家はと　酒夜現

ちら〳〵と白のちをこめてふく風ハ　吳竹直良

みちのくの早蕨　松

て先のまつこと社月もちら〳〵のほをてをやうすむ秋　吳竹直良

すゝ神のこゝろやも冨士のたかねも　玉帚菴上成

そ知ハ春のそらよりそ雪　玉帚菴上成

越中冨山

高砂連

梅のえに乃匂ひよりそ知ハ春のそら　外山亭守人

桜さく〳〵花もせんく〳〵ひとつゝゝきの佐倉　茂林家掌頼

春雨のちゝよりそ川をほりち山　吳川亭清人

海そ〳〵社をもまよひてぬく永き　栈木豆白

志をそに　姥乃花やもあすらん

垣隔ちの社浦をとはいちやうち　揚元輔

ひく枝ゝゝ志ろ〳〵こゝさゝそら

ゝゝりをまする　雁國元

さ〳〵まそなひのそひ花をし

な宇宙　杉よかそうの

まく〳〵ものゝ〳〵　柳枝亭薇鼎

よく花をとりまいて　屏風程
はこひもあれば　遊事　掠いく　扇面亭秉廣

梅ともらう咲もらる世をそうぐいすも
なくくもうれしき春の梅　大本薗住

海辺にかすみを社衣隆整
そそのくる船も斜めにかすめり　木専慰師

かすむ杖　乃　ゑりゑりやてんてん手まり
くくゆくふるも書梅の花　豊年行

月ふくかぜにふくらおもてくら
ひくよ笑ふ面むきくら　三井堂鐘寺

下総

春風うとうる氷を裏くそそぐ　佐原　北總菴楫取
かすみよはうをうるくる春の柳

梅しのみもくへうぐいすん
かふふいらうさ笑　毎川　夢告成

お蔡社みそもりをくをも弁書
志利うりはる野くく女日くく　古河　羽二重糸好

午一金社そもせ立らん梅草
くうぐいすくよ這つるかすみ　佐倉　冀下主

仝　鉢子

梅ゑをそうさにる五社生こん草
四うりはを我人せようねん　東寧魚群

梅うまでもを事はいまひ社まう裏
くくもうてゆくうをかふ　紀平之

山遠くおくのをてうり春
ちからおまにゑせなりうん　北川奥住

三河　搏衣連

佐久島	波上亭則速	里にいを人とふ庵の
新城	鳥毛振方	夕ぬのうつかへるさ
萩原	玉章封女	いくひねりもうす裕山も
瀧	飛泉亭南智女	夜のまの露のあり〳〵宇治
	兎六齢曙喜	ひりはさら〳〵もまゝ月
新堀	探月亭照景	このよ経ハ露乃きゑも短し
		炊煙よそそは野ら(ママ)はこゝに
		岩うけはそらをそ毎とゑ
		さをはいはゝそのひ〳〵まと
		さく夜はつゝまつ〳〵書
		なつ〳〵もゝ野をおゝくへゝ

新堀	不見只閑盲人	落ちかゝるけさ哉ゝ 梅 校 乃
		志ろもゝ枝 はゝ新の梅 ゑん
		むゝさ江のこゝろ杜浦のなゝ
		ゝとゝゝハなゝ〳〵書 乃一無
大岡	松嬙菴千代盛	物の色杜かゝうゑ梅も咲 神 子
		〳〵 志ふんとも まゝゝ ゝ
新堀	東北齋美南女	春雨のそれ〳〵ゆりめさてまえん
		ゆゝ〳〵そのゑ峯の さいゝう
新堀	遐仁之先子	なりて 山杉ゝまゝゝ杉ゝ
		ゝゝよう まゝゝ杉ゝひゝ
佐久島	清風亭蟹牛	美ゝ野ハい梅の えゝれ たゝ〳〵 野く
		い〳〵春も浅れ花かんゝ せ
		楼ゝまゝ おゝゝハひゝるゝゝ
		ついてもゝ〳〵無 春乃日ゝゝ
	閻夜亭飛礫	

国立国会図書館　タイトル『百囀』 請求記号 寄別5-6-4-15

ガラス使用

三河　八橋連

紅やこそ名にしおはゞ杜若　元冬里
きつゝ慣　柳なを　香のうつる迄

さ衣姫のおん袖いかばかり　北鳳愛政
ちよこそ〳〵ふるころも哉

尾張

勅なれば　伴代を出暑よ笠の雨　堪忍住良
ぬれらん民も　蓑とこそ聞

初日影ひかりも　金魯
ちよこそ〳〵女意うまで

吾妻よりの便も神　亜章菴有成
上〳〵吉の末社まで

二十六

伊勢

おりゐ居ひざまづきたるかたち　五葉舎葉打
葉くるかたのおつまもりせん

菊　乗名　伊勢山住

まことの神の御末ぞうれしき　鉞琴定女
ちよ〳〵はいでまる新のつも

るあめはたのみ櫻咲うち　青山亭
ちるあめはたのみ櫻咲うち

吉原ちよ〳〵十年餘　友文
住吉のまつの葉の無理

大坂

天も孤よ酔ふて人ふたり
かすとも山のかなたより　記於佐丸

ながめやる月に這入さ梅の香を
十日も廿日もとめてこそ　喜山

肥前長崎寄

春しのへまうさむ井のうま水を
こゝろんふるまうよ　萬里亭音足

みつる春社垣よりふかくまで井上
のぶる時鳥の声ゆかし　八王子　中上吉則

二十七

武蔵川崎寄曲水連

物まつ夜自もいとゝはるかにて　田毎亭豊
そてもるまゝ草そふ露　下野

夏さむそうする衣ありこそ陸奥
そそぐ宮をもわくる山　自新　中野吉人

針仕こゝ糸をとゝまるよもすから
袖の浦をもかくるこゝろ　酒上喜三二

雲はてゝ急ハハこゝろ忙るよりも
こゝろ仕業をひとつ事　栖篁亭高喜

和田の糸こゝろをとゝめハこゝろ
かすこゝろまる山　仲つゝ　岐　奥海堂宮住

江戸

紙屋をこちらへさげよ　十
おとよそろへ　門の書　押　　花川亭高丸

花すこし　枝もう　野をこえよ早庭の
もも　歩いてそこまで　枝くかし男　　松櫻菴高人

下もえ一夜乃秋　まるまるを
山乃かひなき　花のさりさり　　吾息齋喜樂

よし野山　櫻のもり　社丸病よも
花をハようまで　婦もよも春　風　　機　喜高

する社　婦もし　山の皆ありを　かまをけて
除のまもりに　おそる　さりさり　　一向舎積金

まをおそる　母のこともよ　あらさま社
行き　外　そもそも　たはの事　移　　蹄齋北馬

朝日さす　霧の山のこ
はこも　紫こもりさ
れ乃　色

堀川亭石丸

紫の戸をそこはをけ
そこ松の又まをし
ま

野遍亭蘆道

みそそもさい　梅を　社
帯をこはりけもあひ　川

千歳菴矢藤

行きもひさらん　はりこ　山こ社
笑へる　ま　垣　子　梅

本實真榛

西夏の　魚をたもそ
おきこそし　松　　自

秋毫堂高随

和歌乃圖　およひをそこ
婦のこ　霧こかむ　行

柏壘亭書記

堪忍舎三字号

天書堂張魚

氣面堂行浅

真章菴文人

駒形業人

庚歌号

三亜楼哥登丸

大及黒塗

花本坂号

業八重丸

王子道行

国立国会図書館　タイトル『百囀』　請求記号　寄別5-6-4-15

ガラス使用

菓の屋星数

幸寿松元

約曳機人

夫々道成

朝照蓼廣丸

文華亭

十二軒楽

大橋直道

千世松成

朝倉梓屑

春風よ春もこゆうもうらうらと
うハ ほこうゝ奴さゝの梅こうえ
むゝさ花の一ト輪さよいつる
ね我の如りのさゝひ 李下齊
春廿五の月ハ春のうちうらら
ゆうりこのさゝ梅のつま無 承言菴一牛
うゝひよいつ 花鳥 ひとを
花よこはきる事のねこ 雨
さゝうひ廿をさゝのゝうこねん
冥ひゝ春乃山 弄月菴只丸
えの廿さよくゝはうる吹このゝ
口さかにいつ 卧龍軒梅道
ま待ふる屋ろ花のはゝよるまとう
さゝとうさゝや うちる 早十 岩巌
嵐 桂樓舍風

杜若菴蜘手	大間し 崔岡舍方人	義 春草菴仲見	姑	廣汎 黒髪山近	会	山望亭安良
方寸齋						

国立国会図書館　タイトル『百囀』　請求記号　寄別5-6-4-15
ガラス使用

三州　浅花菴皮人

伊勢　福遐長生

全　浅枝菴連人

三州　垣元夢丸

全　八聲明近

奥陽原　龍笠亭苔風

武蔵神奈川　笹林堂茂

全銘子　浅波菴河鳥

下総銘子　萬車呂

武蔵川崎　鐸種李志

出羽米沢　浅霞菴深教

武蔵岬加　木白雪

国立国会図書館　タイトル『百囀』　請求記号　寄別5-6-4-15

ガラス使用

ほろくと其の降まの行なのこゝろみも　奥會津　孤林舎貧生
霧よこはむとしも　春
ちり園のこゝろは花にもよふとも　今須加川　幾世蕙久門
梢えてみる霧のうらひに
春の園とて　掌座下館　板屋棟成
梅ふゝめ浦の志ほの香ぞ七重咲　下總龍子　長の亭八重咲
ふ〳〵おもふ所　丁巳
多賀城の反砚よ　參州之河　野草菴道人
志めりふ〳〵春雨　乃名
さみだれのかりし其ふみ七　全　文嘉亭早雄
鉄砲ぬ〳〵白よ梅こゝのえ

其餅のいろ春ふかみどりをのく　米沢　連葉菴春木
ひらの長話をかへるこゝろかな
あふこよの色ふかの海ちかき雨りせハ　白川　雪本菴宿成
包りもよさく梅ハ五ふてる
幼戸ひとり月也〳〵ふよさ〳〵松の　下館　荒川亭貴達
あらひをふ儀ゝ祝ふえ　日

諸國淺草側判者

其國よのこゝろ〳〵うハらまこゝから　桐生　後羽亭織主
まさ〳〵ふ酒の正ふせん
其さむさうけひれ水とちまさかことれ　警　丁巳
まつり　大間々　涼窗亭裏風

国立国会図書館　タイトル『百囀』　請求記号　寄別5-6-4-15
ガラス使用

見ればとても世の花の
こゝろなりかつま〻寒の
寒の梢をつゝふ梅はの川岸を
ひとりに花乃小ふねかな

大間々　浅茅菴旁舎

かけの屋よ板ことけいの春乃宮　三卿　浅倉菴三笑
ひをひしきて春を告る里

足利　呉服堂織輔

ろ〻の面社けんをれやに学乃　廬沼　糸草菴倉長
ふきいもをはまる梅の枝

宇都宮　睦岡菴萱根

ろやこんやさるふ堅塚山ハ
秋迦ままさ〻に花乃白雲

桜花さそふ〻こゝろ〻ち〻ち〻
ち〻ち〻ちるも如雲乃
こゝろ〻ち〻

真三春　一瓢亭丸寝

こゝ原まこゝハ玉乃花書日も暮乃
旅くおりふ花の本乃毛〻

今川股　禾酔人光俊

口ふ〻ゝをゝとりをかりて
こゝはをゝ井乃の山吹

今　巨東菴亀人

稚ひこゝ弓張さゝまの
おのこはをれかゝまゝ〻ゝ

雄中　浅林菴如等

春ふくさ〻ん〻
春乃種や風よ一日ま
きもはいし巡春　松乃え

今　浅秋菴義茂

淺草側判者

掃除〳〵ゑの日のそうじハさぞや照葉の日　淺瀬菴永喜

少をかしてそうじ多ゝとは多らま妙ゑはは　仁義堂道守

月よほけさ〳〵座の松の白雪　東山堂教良

春よそこ掛植のそうじまねいはゞ〳〵のかくごうそうじ　末廣菴長清

そうじ物。柳を風の吹つけ〳〵ゆく〳〵ほそう〳〵笠よせ　夏菴則次

松なのかく〳〵ハ吹〳〵ふとゝのよ　千種菴霜鮮

松の名ちなみのおりの紙ぶくろ　淺草菴市人

補助

そうじよせうゑの日ハ風はそうじすゝやまさらん　東風福子

當社はそうじよ經ハよむ〳〵かんそうじ多し　田原常則

花の名はまつをも祝ふ春の数　世日菴厚丸
はるの八百よもさもあるはず節ぬん

さる姓の春のさゝ舟の名かすみ子　櫻下堂壽歷
久方の雲も春かとへ八えみ子

時鳥と吉を祝ふよろこびを　漫月堂春人
花ぞ多みいさこのひろせと

久方はれ人よ急ひりん　さゝ
かゞえ小池かくらをの松の花　南章樓下照

香奠人のるるよりふふ梅の花　浅葉菴音芳
ふりまれる自ひのそゝ

かすこてゝ小袋よつゝ　浅ナ亭市成
幕下ねりひけよまろふ青柿

ふゝ〳〵ちとゝもりふゝ人の
もろうちるまで　浅緑菴春告

久めさみ今ま春〳〵こゝをちく　浅呂菴牧廣
ゝゝうふ由〳〵屑の一はら

あくゝゝとうのこさゝて面白せ　浅源菴清志
陸奥ねそく春の菜ぬる花

ちゐはきて、やもめ鳥もさゝ初せん　浅律菴永世
大系山はよるゝ〳〵のおりど

国立国会図書館　タイトル『百囀』 請求記号 寄別5-6-4-15
ガラス使用

午
寄別
55

寄六ノ六

文化三年丙寅春

東都画工

画狂人北齋

同彫刻

秀櫻堂園枝

蘭香堂真吉

書林 永壽堂 西村屋與八

馬喰町二丁目

寄六ノ六

こちらよりこそ香のこのたい
むつきの初ね ねこまるうす香　　栗栖亭喜丸

おく深井のそこ志屋こおとろめ初七
息抱乃浦をかくるうすこを　　谷屋明風

天も花よこそよこおとろハ日のこのつ比
ねこまるきよ戸ふるこそ純　　萬歳亭逢義

茅ふるす茅志ろかをこれハ
ひこいろおこ梅こう　　栗楊菴千則

かてこいろ〳〵ほめて物こそ
はよ〳〵いろこ花内春　　画　　おふこく

国立国会図書館　タイトル『百囀』 請求記号 寄別5-6-4-15
ガラス使用

寺
55.

国立国会図書館　タイトル『百囀』 請求記号 寄別5-6-4-15

ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『百囀』　請求記号　寄別5-6-4-15

ガラス使用